

平成 29 年度 第 1 回今宮工科高等学校・学校協議会（議事録）

日 時：平成 29 年 7 月 19 日 午後 2 時 00 分～

場 所：本校 視聴覚教室

参加者：

<協議委員>（敬称略）

元本校校長	古賀 史郎
今工会（本校同窓会）会長	野田 昌洋
(株)エムシステム技研	加納 孝幸
萩之茶屋社会福祉協議会会長	田中 康夫
いまみや小中一貫校校長	堀端 和彦
P T A 会長	山上 実智代

1 校長挨拶

- 挨拶
- 委 嘱

2 協議委員・事務局自己紹介

3 本校の課題について

- 教育方針（学校経営計画）について
  - 「確かな学力の育成」「規律・規範の確立と豊かな心のはぐくみ」
  - 「学校運営体制の確立と教職員の教育力の向上」
  - 「地域連携と安全で安心な学校づくり」
- 学校教育自己診断結果について
- 平成 29 年度『企業等連携による実践的技能力育成事業』について
- インターンシップについて
- 学校説明会等参加者に対する志願状況について
- 平成 29 年度入学者選抜について
- 出身中学校訪問について
- 授業見学について
- 今工生の進路状況について
- 飛翔教室（土曜日実施の自学自習教室）について
- 生徒指導について
- 教科書採択について

4 問題協議と提言 委：協議会委員 事：事務局（学校側） アンダーライン部：提言

委：学校経営計画での数値目標が多数あるが、毎年、数値目標を上げていくのも難しさがあるのでは？

事：数値目標を上げていく難しさはある。たとえば、就職の一次内定率がただ単に高いというのも一概によいとは言えない。生徒が高い目標を持って、挑戦することも大事だと思っている。

委：生徒の気持ちを前向きにさせることが大事。企業でも、技能五輪で金賞をとった社員を指導者に行っているが、指導者も成長していかな

いと、指導される方も成長できない。

委：家庭学習時間1時間以上の生徒を40%にするとあるが、どのように実現させるのか？

事：授業で宿題を課したり、土曜日の飛翔教室を活用するなどを考えている。

委：家庭学習を増やすだけがすべてではない。正解を自分たちで探していくような学習が大切。

委：実践的技能力育成事業は報告書を提出するなど手間はかかると思う。でも生徒が喜んでくれることが大切である。

事：生徒の意欲につながるものである。労力以上のメリットがあると考えている。

委：教育目標的には中退者は0%であるべきである。

事：学校へ入ってから進路目標の変更で転学したりする場合もあるが、中退者はないように努力していきたい。

委：中学生やその保護者等を対象とした学校説明会は、校内外で年間22回ということだが、過去に比べ多くなっていないか？

事：〇〇区説明会や塾の説明会など最近は多くなっている。依頼があれば、特に支障がない限り、すべて参加している。府下全域から生徒がくるので、広く参加する必要があると考えている。

委：中学校の保護者向け説明会では、生徒が高校の体験入学に行くように言っている。

委：大学に進学したら、1回生のとき、英語や数学などの科目が大切である。それを乗り切れる粘り強い生徒を大学に送ってほしい。

事：工学系大学進学専科や進学希望者には、英語や数学などで単位数を増やすなど、大学に必要な基礎学力の習得に努めている。

委：全国大会に出場するなどの部活動は？

事：陸上部が棒高跳びで全国大会出場、日本拳法部も全国大会出場、機械工作部もロボット競技大会で全国大会出場する。

委：部活動でも中学生にPRすればよいと思う。

## 5 事務連絡

### ○ 第25回大阪府産業教育フェア

平成29年7月23日(日) WTCコスモタワー

最寄り駅 地下鉄中央線「コスモスクウェア」駅下車

ニュートラム「トレードセンター前」駅下車

### ○ 平成29年 文化祭

平成29年11月11日(土) 9:00~14:30 本校

### ○ 次回以降の予定

平成29年12月 日( ) 13:30~ 第2回 学校協議会

平成30年2月27日(火) 10:30~ 第3回 課題研究等合同発表会